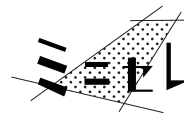


## 鑑賞 &amp; レビュー講座

## 観て、話して、書いてみる



舞台鑑賞者のためのコミュニケーター養成に向けて

作品について考え、作品の観方を知り、  
作品について他者に伝えていくための  
鑑賞者のためのレビュー講座を開始します！

SNSの発達により、舞台の感想を書くことが身近になった昨今、「感じたことをもっと的確な言葉で表現したい」、「さらに伝わる文章が書けるようになりたい」と思うこともあるのではないのでしょうか。

観た作品の感想を話し合い、言語化することで作品の理解を深めると共に、観ていない人とも繋がっていく。この講座では「レビューを書く」という行為を通して、作品と社会を繋げていく「コミュニケーター」を養成することを目指します。

講師には、様々な評論家の方をお招きし、彼らの豊富な経験から多様なアドバイスをいただきます。

書くことに興味のある方はもちろん、舞台の観方を知りたい、観たことをほかの観客などと共有したいと思う方、是非ご参加ください。



第1回



地点『忘れる日本人』

2018年7月14日(土) 13:00-15:00  
ビデオルーム(愛知芸術文化センター地下2階アートプラザ内)

参加費：無料

※ 7月13日の対象公演を  
鑑賞の上でご参加ください。

講師



萩原 雄太

かもめマシーン主宰、演出家、劇作家、フリーライター

1983年、茨城県水戸市出身。舞台芸術を中心にアート、カルチャー系の記事を数多く執筆する。浅草キッド『本業』読書感想文優秀賞受賞。演劇カンパニー「かもめマシーン」で劇作・演出も行っており、第13回AAF戯曲賞を『パブリックイメージリミテッド』で受賞。利賀演劇人コンクール2016では優秀演出家賞受賞。締め切りは遵守する。

対象公演

愛知県芸術劇場ミニセレ

地点『忘れる日本人』

7月13日(金) 19:30-

処女作『みちゆき』が第15回AAF戯曲賞を受賞し、彗星のごとくあらわれた秀英・松原俊太郎の長編第2作。東日本大震災後の日本で、他者との共生を希求する力強い文体。KAAT神奈川芸術劇場×地点の話題作、待望の愛知公演。

作：松原俊太郎 演出：三浦基

出演：安部聡子、石田大、小河原康二、窪田史恵、小林洋平、田中祐気、麻上しおり



Photo: 松本久木

申込み

(先着順)

定員20名

メール ws22@aaf.or.jp

【件名】鑑賞 &amp; レビュー講座 申込み

①名前(ふりがな) ②所属(勤務先、学校等) ③連絡先(メールアドレス、電話番号、住所) ④志望動機

※ご記入いただいた個人情報は愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

鑑賞 & レビュー講座「観て、話して、書いてみる」は、今後のミニセレ公演で随時開催予定！お楽しみに！

主催・お問合せ

愛知県芸術劇場

TEL:052-971-5609 MAIL: event@aaf.or.jp

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)| 独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁